

事業タイプ・類型	デジタル実装型（TYPE1）	期間中の総事業費	27,300千円
目的（効果）	<p>困窮・住まい・家族・高齢・障害・孤立・健康・就労など多岐にわたる複合的な課題を抱えている住民の課題に対して、AIの活用により、その状況を分析し、一人ひとりのニーズに対応した各種サービスや制度、地域の情報等を迅速・適切に提供する。また、ひきこもり状態や介護等で役所の窓口を訪れることができない相談者のため、タブレット端末を導入することにより、窓口以外（自宅や公民館など）でも充実した相談支援サービスを受けられるようにする。</p>		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年度事業費	<p><b>1 主な経費</b></p> <p><b>(1) 環境構築費</b> 9,900千円（契約先：ソフトバンク株式会社） クラウド・生成AI、アプリの利用に係る環境構築費用</p> <p><b>(2) 端末購入費</b> 4,995千円（契約先：ソフトバンク株式会社） タブレット端末および周辺機器の調達費用</p> <p><b>(3) 端末運用費</b> 7,971千円（契約先：ソフトバンク株式会社） クラウド・生成AI、アプリの利用に係るライセンス料、タブレット端末の通信回線利用料および運用保守費用</p> <p><b>(4) 既存データ取込み料</b> 3,960千円（契約先：一般社団法人アットホームパル） 紙媒体相談記録の電子化に係る費用</p> <p><b>(5) 研修費</b> 474千円（契約先：ソフトバンク株式会社） 円滑な事業振興のための職員向け研修費用</p> <p><b>2 取組概要</b></p> <p>県内の町村を所管する4か所の県福祉事務所にタブレット端末を導入して、相談支援体制の充実を図る。</p> <div data-bbox="576 996 1810 1343" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>県福祉事務所の相談支援体制</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><b>Google Workspace</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ケースファイル</li> <li>・ケース台帳、ケース記録</li> <li>○収入申告関係</li> <li>・収入申告書、給与明細 など</li> <li>○各種情報</li> <li>・関係法令、制度、支援メニュー など</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><b>Gemini</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○録音・テキスト化</li> <li>・リアルタイムテキスト変換</li> <li>・録音データアップロード</li> <li>・AI要約 など</li> <li>○AI相談</li> <li>・要支援者の困りごとをAIに相談</li> <li>・過去の要支援者の発言を検索</li> </ul> </div> </div> </div> <p style="text-align: right;">業務委託先：ソフトバンク株式会社</p>		